

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	佐世保市	代表者名	宮島大典		
担当者部署	DX推進室	連絡先電話番号	0956-24-1111		
担当者役職	主任技師（電気）	担当者氏名	諸國敬	連絡先E-mail	*****
住所	857-8585 長崎県佐世保市八幡町1番10号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	現在各課の課題ヒアリングを実施し取り組みに対してのマインドチェンジ研修か課題に関して管理分析が行えるデータセットの作成等についてのアドバイスやワークショップ（場合により補助）をお願いし、業務のフローマネジメントの先に、どのような情報を重要視し記録するか、記録する際のコストが実際に効果としていつ現れるのか、データスキーマ設計へのつなぎ方への概念を教えていただき、対応の方法のイメージがある程度できたと思います。 現課や行政改革部門、DX部門その他周辺自治体とデータスキーマ設計などの事前準備として業務フローの現状把握とその最適化が準備として必要なのだと理解するきっかけになったと考えます。一定担当者のマインドも変わったと考えます。
アドバイザーへの要望事項	現在各課の課題ヒアリングを実施し取り組みに対してのマインドチェンジ研修か課題に関して管理分析が行えるデータセットの作成等についてのアドバイスやワークショップ（場合により補助）をお願いしたいです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年11月3日	支援・助言（実地）	有	令和5年12月14日	1066
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年12月15日	支援・助言（実地）	9時00分	17時15分	60
				活動時間（分）	435
3-2. 派遣場所	会場名	佐世保市役所	最寄駅	佐世保駅・市役所前バス停	
	所在地	長崎県佐世保市八幡町1番10号1F 公開スペース	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員(周辺自治体含む、オンライン併用)	17人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	原課で仕事を楽にし、変革対応を行いたい機運が高まっているが、データの利活用や統合作業が全体最適化に貢献できることの認識がなされていない。データ整備がEBPMやオープンデータの推進等に貢献する重要なファクターであることの認知度が低くEBPMは進める事だけが求められ、前準備ができていない状態がある。 マインドチェンジの研修は複数回行われているが、うまく浸透できていないことが最大の課題。研修などを通じて成功体験も職員に積ませたいが、課題が上手く収集できていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	限定した情報整理項目が必要な業務についてデータセットをクイック作成でき、データの利活用がしやすい機運が一定ある状態。 または自分たちでデータセットをいつでも設計できるマインドチェンジを行い全体最適化を後押できる機運がある状態を一部の職員に理解してもらっている状態。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	佐世保市の現課の特定課題を取り上げ必要とされるオープンデータのデータセットの作り方やスキーマ設計へどう持っていくのか、その事前準備は何か午前中にご教授いただいた（ケーススタディとして）。 午後には現在の業務フローにオープンデータの公開業務フローをどのように溶け込ませれば業務負担が少ないのか、議論でサポートいただいた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	オープンバイデザインの考え方で、仕組みの流れの中に元からオープンデータとして公開するのを前提に業務フローを再構築または設計する点でのお話をいただき、その他現在利用しているオープンデータポータルサイトの標準機能等をどううまく使えば、業務負担少なくオープンデータの公開作業が続けられるかアイデアをいただき、一定、職員間の「オープンデータの公開は手間がかかる」といった考え方の払しょくできたと考える。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 具体的にはできていない。 頂いたアイデアを基に庁内ルールやガイドラインを作る一定のルールを引いてもらえたと考える。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修参加者以外の職員のマインドチェンジ この件については別途後日研修をリモートで改めてお願いしたいと考えております。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 当日リモート参加者と現地参加者と煩雑になる恐れがあったため、後日周辺自治体担当者職員で会議及び活動内容において内容をまとめる際の会議で行う予定とした。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	限定した情報整理項目が必要な業務についてデータセットをクイック作成でき、データの利活用がしやすい機運が一定ある状態。 または自分たちでデータセットをいつでも設計できるマインドチェンジを行い全体最適化を後押できる機運がある状態を一部の職員に理解してもらっている状態。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

